

タイで冷凍・冷蔵物流センターが竣工

～タイ国内No. 1コールドチェーンを目指す～



センコーグループホールディングス株式会社(社長:福田泰久、以下センコー)及び、グループ傘下で冷凍・冷蔵事業を展開する株式会社ランテック(社長:山中一裕)ならびにタイの外食チェーン企業である MK Restaurant Group Public Company Limited(会長:Mr.Rit Thirakomen、以下 MK レストラン)との合弁会社 M-SENKO LOGISTICS CO.,LTD(社長:榊原一典、以下 M-SENKO)が、タイのサムトラカーン県に3温度帯の「M-SENKO ロジスティクスセンター」を10月8日に竣工させました。

新センターは、バンコク市内から車で約28km(高速道路利用で約30分)、スワンナプール国際空港から約23km位置し、タイ国内の配送の利便性が高い好立地です。

約5万3千㎡の広大な敷地に、延床面積約2万2千㎡の建物があり、冷凍(-25℃)、冷蔵(0~4℃、4~8℃、6~10℃)の自動倉庫や可動ラックを備え、幅広い保管温度帯に対応します。

また、センコーグループの冷凍・冷蔵物流技術や日本で培った人材教育ノウハウの活用などで、日本国内と同レベルの細やかで高品質なサービスを提供します。

M-SENKO は、タイ国内のMKレストラン各店舗への食材供給はもちろん、それ以外の顧客開拓を進め、タイ国内No. 1のコールドチェーン展開を目指します。

【M-SENKO ロジスティクスセンター 施設概要】

1. 所在地 : タイ王国 サムトラカーン県 Bang Sao
2. 敷地面積 : 53,200㎡
3. 建物構造 : 鉄筋コンクリート造、平屋建て
4. 延床面積 : 26,019㎡(倉庫 21,747㎡、事務所他4,277㎡)
5. 主要設備 : 自動倉庫、可動ラック、ドックレベラー5基、非常用発電機

以上